

1 学級概要

【学校名】羽村市立羽村第三中学校
【学級名】E組（特別支援学級[知的障害・固定]）
【所在地】〒205-0021 東京都羽村市川崎697-1
TEL 042-555-5131 FAX 042-555-5042
【校長】 瀧上勝則 【副校長】 長田茂男
【担任】 坂口直樹 高橋知子 牧野翔太
【講師】 青木美奈子(理科) 伊藤直子(音楽)
 大西雪江(美術) 吉川益栄(英語) 直井真木子
(数学)
【介助員】 正親和代 中道正
【学級数】 2学級
【生徒数】 15

	男子	女子	計
1年	4	0	4
2年	3	2	5
3年	4	2	6
計	11	4	15

2 教育目標

(1)学校の教育目標

広い視野をもち、創造性豊かな人を目指して
かしこく 〈自ら考え、進んで学ぶ人になろう〉
やさしく 〈心豊かな、思いやりのある人になろう〉
たくましく 〈最後までやりぬく意志の強い人になろう〉

(2)学級の教育目標

生徒一人一人の自己の実現を目指して
・よく見、よく聞き、しっかり考え、意見を言える人になろう。
・人の気持ちを考え、思いやりをもって行動できる人になろう。
・目標に向かって努力し、困難を乗り越える人になろう。

(3)学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

・2学期制を生かして授業時間数を十分に確保し、学習指導要領の趣旨に則り、生徒が自己肯定感をもてるように、基礎的な学力の確実な定着を目指した適切な学習指導を行う。
・生徒同士が互いの個性を尊重し、相互に補完しあいながら、ともに成長するように配慮する。また、生徒が自分自身を大切にし、身の回りに存在するすべての生命を尊び、自分たちのためだけでなく、多くの人の気持ちを考えて行動できるように生活指導、安全指導の充実を図る。
・市内小・中学校特別支援学級と連携して特別支援教育を推進し、児童・生徒の個性と創造力を伸ばし、生きる力を育むために、より良い小中一貫教育のあり方についての実践を進める。
・生徒一人一人の多様な教育的ニーズに配慮し、学習意欲の向上、個性と創造力の伸長、社会生活への適応を目指した指導と評価を行う。
・健康増進や身体機能の強化、体力・持久力の向上を目指した課題を設定し、教育活動全体の中で取り組ませる。また、環境問題の現状を知り、それを改善する具体的な行動

に移れるように、農作業やリサイクル活動等の体験的な学習を組織する。

・生徒の実態に合わせて、通常の学級と日常的な交流及び共同学習を進める。また、市内や他地域の特別支援学級とも交流を行い、主体的に他人とかわかる力を育成する。
・通常の学級の生徒や地域の方々に対して、学級公開や作品展示、発表会等のさまざまな働きかけを行うことで、校内や地域における特別支援教育の理解・推進を図る。

(4)特色ある教育活動

・生徒の実態を把握し、保護者との綿密な話し合いの上で個別指導計画を作成する。
・日課帳や学級通信を通して、学校と家庭との様子を連絡しあうことにより、指導の充実に努め、家庭との信頼関係を深め、生徒が楽しく安全に通える学級づくりを目指す。
・学級集団を大切にしながら個に応じた指導を推進するため、グループ別学習やチームティーチングなどの指導法を工夫する。
・生徒作品のカレンダーを作成し、市内の諸機関に配布することを通して、地域の一員としての自覚をもたせるとともに、地域社会に対して特別支援教育の理解推進を図る。
・日常生活に必要な知識や技能の習得や主体的に活動に取り組む態度の育成を目指して、宿泊学習をはじめとした校外での体験的な学習を積極的に実施する。
・3年間を通して職場体験学習を実施し、働くことについての関心・意欲を高める。
・他地域の中学校特別支援学級との交流を深めるため、多摩地区特別支援教育研究会等の主催する事業を活用しながら、スポーツや発表会、交流会などの様々な行事を実施する。
・地域の特別支援教育の中心的機関としての役割を自覚し、専門的教育力の向上や相談機能の充実を図り、また地域の教育的資源を積極的に活用することで、市民に信頼される魅力ある特別支援学級づくりを目指す。
・スクールカウンセラーや保健・福祉・労働の関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画作成の体制を整えるとともに、きめ細かなネットワークを確立する。
・特別支援学校との行事交流や副籍交流を実施し、連携を深める。
・週時程は通常の学級に準ずる。授業の1単位時間は50分を標準とする。

3 主な年間行事

4月：始業式、入学式、保護者会、身体計測、小中交流会、離任式

5月：1年校外学習、2年校外学習、3年修学旅行

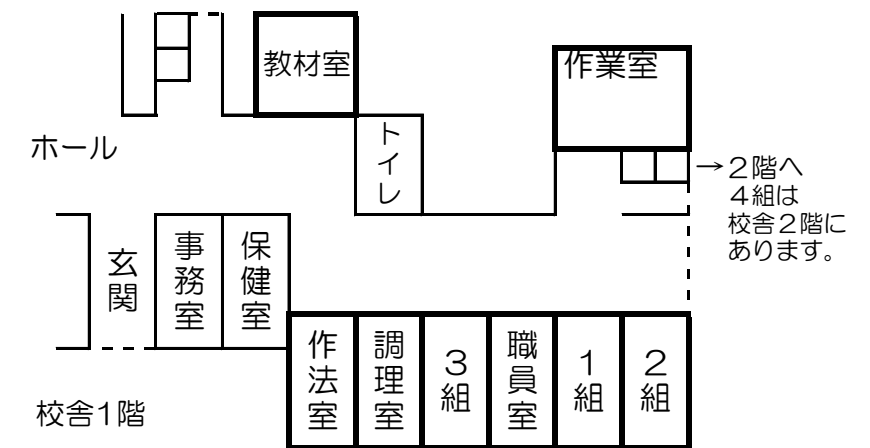
6月：バスケットボール交流会、多摩特研球技大会

7月：体験入級、陶芸体験、夏季水泳教室
9月：宿泊学習(9/8～9/10)、体育大会
10月：多摩特研マラソン大会、終業式、始業式
11月：職場体験、社会科見学、福生一中交流会
12月：カレンダー配り、特別支援学級発表会（舞台発表・作品展）、職場体験発表会
1月：1年スキー移動教室
 ソフトボール交流会、1年移動教室
2月：多摩特研劇と音楽の会
3月：合唱コンクール、保護者会、卒業式、修了式

4 時間割

	月		火		水		木		金	
1	体育		体育		美術	数学	数学	理科	家庭	技術
2	道徳		作業			英語	音楽	理科		
3	国語	数学	音楽		英語	美術	理科	音楽	技術	家庭
4	音楽		音楽		国語		理科	国語		
5	数学	国語	国語	英語	社会		体育		学活	
6	生活		英語	数学			総合		数学	国語

5 教室配置



6 校歌

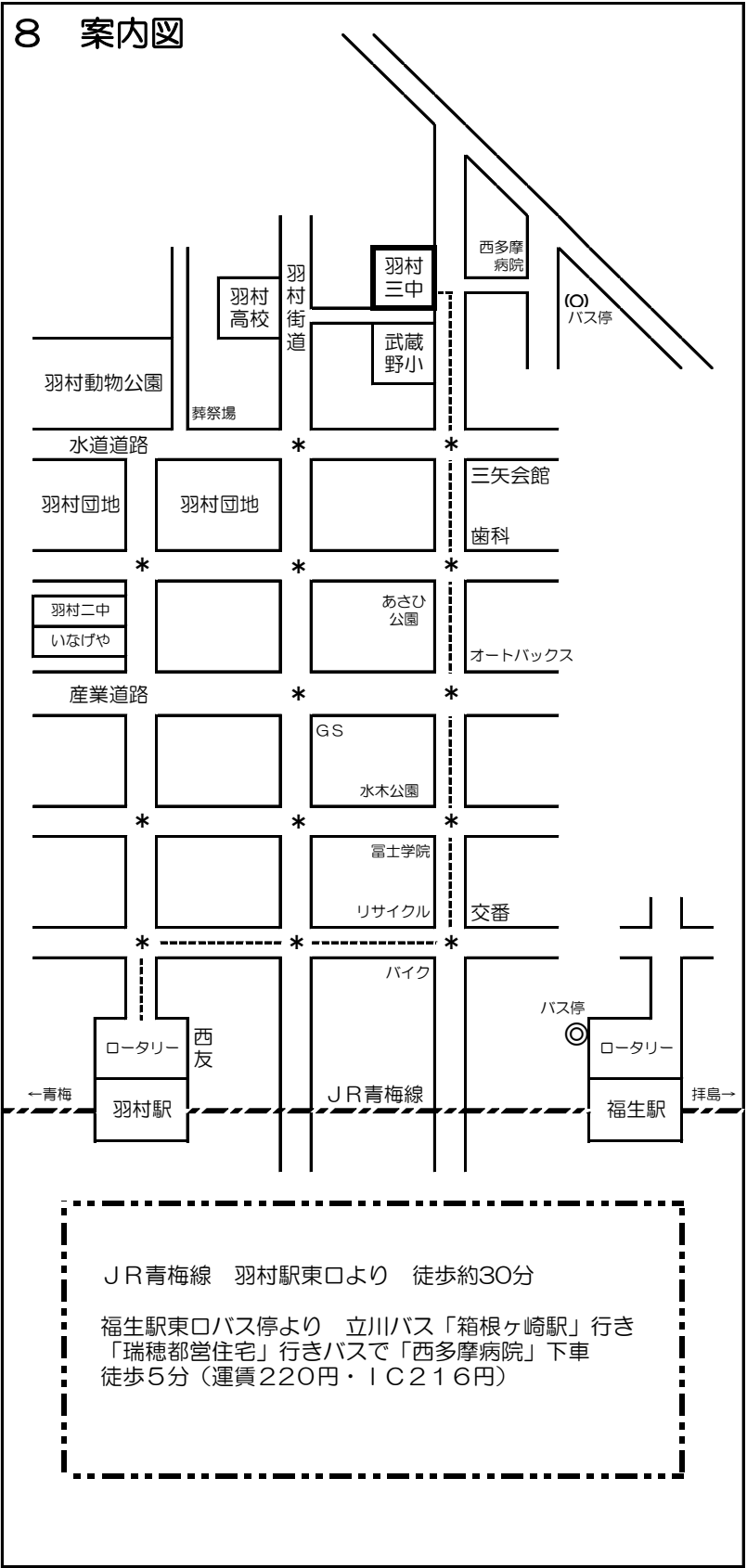
作詞 並木 米一
作曲 児玉 洋子

- 1 白亜（はくあ）かがやく 学び舎は
真理（まこと）求めて たゆみなく
胸を張る丘 明るき窓に
武相（ぶそう）の山の 励ましくけて
羽ばたく羽村 羽村三中
- 2 歴史ゆたかに かおる郷（さと）
伸びゆく文化 ふみしめて
鍛えきたえる 心と力
まなざし高く 希望にもえて
羽ばたく羽村 羽村三中
- 3 武蔵野の空 さわやかに
飛ぶ若鳥の 羽光る
校章胸に 学びの友の
友情厚く あふるる丘よ
羽ばたく羽村 羽村三中

7 校章

【校章の由来】
羽村市の「羽」にちなみ、若鳥の雄々しく羽ばたく姿をデザイン化したものです。
若鳥の羽を三方に広げるデザインは、未来を担う生徒諸君に、躍動する全世界に広く目を向けて羽ばたいてほしいとの願いをこめて、生徒の自ら学ぶ姿をデザイン化したものです。
「羽」に学習の「習」の意味を採りこみ、「ひな鳥」を意味する白い羽は、ひな鳥のように自ら羽ばたきを繰り返し、立派に自立してほしいとの願いを重ねたものです。
（昭和57年4月1日制定）

8 案内図



平成26年度

羽村市立羽村第三中学校E組
学級要覧

羽村市立羽村第三中学校
特別支援学級